

令和5年度 皇徳寺中 服装規定 (中間服)

男女とも、タオルを首にかけたり、巻いたり、肩にかけたりしない。ピアスやネックレスなどの装飾品を着けない。校内外で制服またはジャージを着用する際も皇徳寺中のきまりを守る。(制服やジャージを着くずさない。)

髪は目にかからない清潔で自然な髪形にする。染髪は禁止する。

ヘアアイロン・ストレートパーマは禁止。**※特別な事情がある場合は相談すること。**

女子は肩にかかる場合はくる。髪ゴムの色は黒、紺、茶にする。髪留めにはヘアピンのみを使用。(パッチン留めは不可)必要以上にピンを使わない。

眉に手を入れない。化粧をしない。

リボンを着ける。長さを変えるなどの改造はしない。

胸ポケットにネームをつける。

中間服の中には下着を必ず着用する。Tシャツについては、ワンポイントまでは認めるが、柄や模様が入ったものは認めない。

ボタンはしっかりとほめる。

シャツをしっかりとズボンに入れベルトが見えるようにする。

そでのボタンをとめる。手首にはゴムや腕輪、ミサンガなど装飾品を着けない。

ベルトをしっかりと締め、シャツが出ないようにする。

暑くてそでを上げるときにはそでの幅に合わせてきれいに折る。ひじの上まであげる。

靴下は白を基調とする。着こなしやケガ防止等を考慮し、くるぶしを覆う長さのもの。**※底面の色付き、ワンポイントは可とする。**

ベルト
男子:装飾物のない黒色皮製
女子:指定のもの を着用する。

靴は体育用と兼用の白のひも靴で無地のものとする。テープ式やハイカット、ワンポイント、装飾品は不可。かかとを踏まない。ひもをしっかりと結ぶ。

靴下は白を基調とする。着こなしやケガ防止等を考慮し、くるぶしを覆う長さのもの。**※底面の色付き、ワンポイントは可とする。**

必ず通学カバンを持って登校。(補助バックを持ってきててもよい。)目印にキーホルダーを1つであればつけてもよい(生徒カード程度の大きさ)。落書きや故意による変形をしない。

